

本書と別冊の「サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。「活用編・困ったときは」の3ページと122ページから124ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。ご使用前によくお読みください。



この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

付属品の確認をしてください

- 万が一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
- バッテリーチャージャー BC-CSG (1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-BG1 (1) / バッテリーケース (1)
- スタイラス (1)
- マルチ端子専用 USB・A/V・DC IN ケーブル (1)
- リストストラップ (1)
- サイバースhootアプリケーションソフトウェア (1)
- サイバースhoot取扱説明書 はじめにお読みください (本書) (1)
- サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは (1)
- 保証書 (1)

「メモリスティック デュオ」は付属していません。本機には26MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、より多くの撮影のためには「メモリスティック デュオ」の購入をおすすめいたします。「メモリスティック デュオ」: 本機で使用可能です。

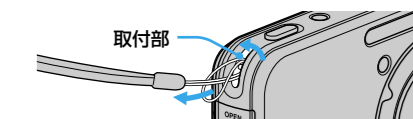
「メモリスティック」: 本機で使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

「メモリスティック デュオ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」113ページ

ご注意

- はじめにお使いになるときは、付属のバッテリー NP-BG1 を充電してください。
- 液晶画面は有効画素 99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。

サイバースhoot オフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバースhootの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話: 0564-62-4979 (おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間: 月~金曜日: 午前9時~午後8時 土、日曜日、祝日: 午前9時~午後5時

1 バッテリーを準備する

① バッテリーを入れる。
バッテリー後部をカチッと音がするまで軽く押す。

② 電源プラグを引き起こし、コンセントへ。

バッテリーチャージャー

電源プラグ

CHARGEランプ
点灯: 充電中
消灯: 充電終了(実用充電)
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます(満充電)。

- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 付属のバッテリーを使い切ってから、温度25℃での満充電時間は約330分、実用充電時間は約270分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

③ 充電したバッテリーを入れる。

取りはずしつまみ

バッテリー/「メモリスティック デュオ」カバーを開ける。

図のような向きにして、バッテリーの端で取りはずしつまみを押しながら入れる。

閉じる。

2 電源を入れ、時計を合わせる

① モードスイッチを「」にする。

② POWER ボタンを押す。

点灯

POWER

③ 画面上のボタンをタッチして、時計を合わせる。

1 希望の日付表示順にタッチして、→をタッチする。時計設定2/2画面になる。

2 設定する項目をタッチしてから、▲▼をタッチして数値を設定する。

3 [実行]をタッチする。

実行 キャンセル

・時計合わせを中止するには、[キャンセル]をタッチする。

3 “メモリスティック デュオ”(別売り)を入れる

端子面

「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

“メモリスティック デュオ”が挿入されていないときは本機の内蔵メモリー (26MB) に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」22ページ

4 タッチパネルを操作する

① モードを選ぶ。

動画のとき
「」にする。

静止画のとき
「」にする。

再生のとき
「」にする。

② (オンスクリーンキー) ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

モードスイッチが「」のときは、この手順は不要です。

③ 画面上のボタンを指で軽くタッチする(触れる)。

・タッチパネルのボタンを消すには、 (オンスクリーンキー) ボタンを押す。

(オンスクリーンキー) ボタン

コンセントの電源で本機を使うときは別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→別冊「活用編・困ったときは」15ページ。取り扱いについては詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

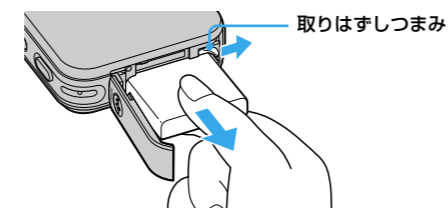
バッテリーの残量を確認するときはPOWER ボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

| 残量表示 | | | | |
|------------|------|--------|------------------|--------------------------------|
| バッテリー残量の目安 | 充分ある | 少なくなった | 撮影、再生がもうすぐできなくなる | 充電済みのバッテリーと交換するか、充電する(警告表示が点滅) |

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

バッテリー/「メモリスティック デュオ」カバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの端に指をかけて取り出してください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向けたようにご注意ください。



海外で使うときは

バッテリーチャージャー (付属) やACアダプター AC-LS5K (別売り) は全世界 (AC100V ~ 240V・50/60Hz) で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたすねの上、ご留意ください。

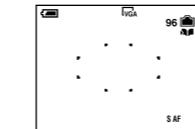
| | | | | |
|------------|----|------|--|-----------|
| コンセントの形状例 | | 主に北米 | | 主にヨーロッパなど |
| 変換プラグアダプター | 不要 | | | |

・電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

時計合わせをやり直すときは
 (セットアップ) メニュー画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」56、68ページ

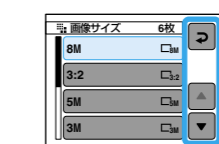
時刻表示について
・手順③-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
・真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意
・時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
・2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



電源を切るときはPOWER ボタンを再び押す。
・バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

タッチパネルのボタンについて
・設定したい項目がないときは、▲▼をタッチしてページを変える。
・ をタッチすると、1つ前の画面に戻る。



- タッチパネルを操作するときは、指または付属のスタイラスで軽く押してください。
- 付属のスタイラス以外の先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。

“メモリスティック デュオ”を取り出すときは
アクセスランプ
バッテリー/「メモリスティック デュオ」カバーを開け、「メモリスティック デュオ」を1回押す。
アクセスランプ点灯中は絶対にバッテリーや「メモリスティック デュオ」を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

5 用途に合わせて画像サイズを決める

1 モードを選ぶ。

静止画のとき
「**📷**」にする。

動画のとき
「**🎥**」にする。

📷 (オンスクリーンキー) ボタン

2 📷 (オンスクリーンキー) ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

3 📷 (画像サイズ) ボタンをタッチする。

4 希望の画像サイズをタッチする。

📷 ボタンをタッチして、設定を終了する。

- 静止画のときの画面です。
- 動画のときは[640 (ファイン)] (*メモリースティック PRO デュオのみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。
- [画像サイズ]の右に撮影残枚数(静止画撮影時)/撮影残時間(動画撮影時)が表示されます。

6 簡単に撮る(オート撮影)

持ちかた

1 モードを選ぶ。

静止画(オート撮影)のとき
「**📷**」にする。

動画のとき
「**🎥**」にする。

ズームボタン

📷 (オンスクリーンキー) ボタン

被写体をフレーム中央部におさめる。マイクの穴をふさがないようにする。

フラッシュモード/セルフタイマー/マクロを設定するには

📷 (オンスクリーンキー) ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

セルフタイマーで撮る

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

静止画の画像サイズについて

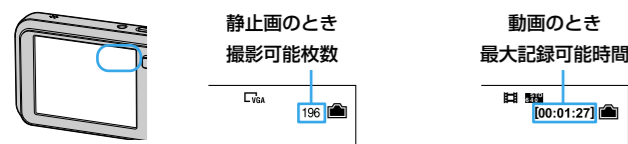
「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」12ページ
お買い上げ時の設定は☑で示しています。

| 画像サイズ | 用途の例 | 撮影可能枚数 | プリント時 |
|--------------------------------|---|--------|-------|
| ☑ 8M (3264 × 2448) | A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合 | 少ない | 精細 |
| 3.2" (3264 × 2176) | | ↑ ↓ | 📷 |
| 5M (2592 × 1944) | A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合 | | |
| 3M (2048 × 1536) | 写真のL判でプリントする場合 | | |
| 1M (1280 × 960) | 写真のL判でプリントする場合 | 多い | 粗い |
| VGA (Eメール) (640 × 480) | より多くの画像を撮影する場合 Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合 | | |
| 16:9 (HDTVサイズ)** (1920 × 1080) | ワイドテレビや、ハイビジョン対応テレビで見る場合*** | | |

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。
** プリント時に両端が切れることがあります。→別冊「活用編・困ったときは」106ページ
***メモリースティック®スロットやUSB経由で接続すれば、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ



• 撮影可能枚数と記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

📷 静止画のフラッシュモードを選ぶ

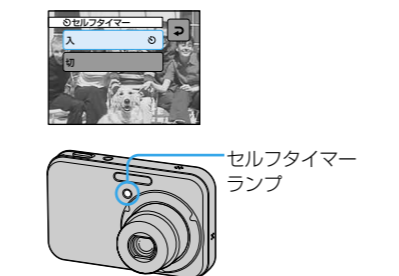
画面の📷をタッチする。設定したい項目にタッチして、📷をタッチする。

| モード | 説明 |
|------------|---|
| オート | 光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げの設定) |
| 強制発光(📷) | 常に発光 |
| スローシンクロ(📷) | 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影(強制発光)。 |
| 発光禁止(📷) | 発光しない |

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.2~5.0m
T側: 約0.34~2.6m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

🕒 セルフタイマーで撮る

画面の🕒をタッチする。
[入]にタッチして、📷をタッチする。
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピピピピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。
セルフタイマーを途中でやめるには、📷(オンスクリーンキー)ボタンを押す。



📷 被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

画面の📷をタッチする。
[入]にタッチして、📷をタッチする。



- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいするとき: 約6cm
T側いっぱいするとき: 約34cm

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピピ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

- 被写体が遠くて暗い
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- 点滅する被写体
- ガラス越しの被写体
- 逆光になっている被写体
- 高速で移動する被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

ズームするには



- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」57ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

7 画像を見る/削除する

1 「📷」にする。

📷/📷 ボタン

📷 ボタン

2 ◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。

静止画の場合: 画像サイズを表示
動画の場合: 📷を表示

📷 動画を再生するには

▶をタッチする。

再生バー

早送り/巻き戻し: ⏪/⏩
(通常再生に戻るには▶)
音量調節: [MENU] → [音量] → +/ - で調節 → [終了]の順にタッチする。
再生中止: ■

- 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

削除したい画像を表示して、[MENU] → [削除] → [削除] → [実行]の順にタッチする。

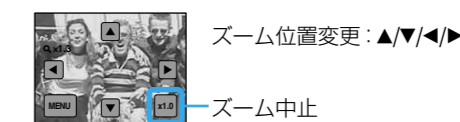


削除を中止するには

- ②で[終了]、③では[キャンセル]をタッチする。
- 画像を削除してもアルバム内に保存された小サイズの同一画像は削除されません。

拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中に📷 ボタンを押すと、ズームできる。📷 ボタンで戻る。



- 拡大した画像を保存するには: [トリミング] → 別冊「活用編・困ったときは」55ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

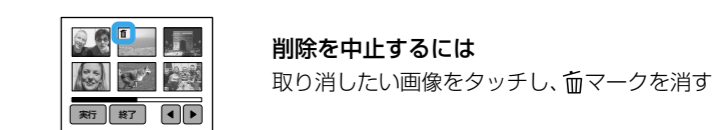
📷 (インデックス) ボタンを押す。画像をタッチすると、シングル画面に戻る。
◀▶をタッチすると前後の画面に移動する。



もう1度押すと12画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するとき

- 一覧表示中に[MENU] → [削除] → [選択]の順にタッチする。
- 削除したい画像にタッチして、📷(削除)マークを付ける。



削除を中止するには

- 取り消したい画像をタッチし、📷マークを消す。

- [実行] → [実行]の順にタッチする。
- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]をタッチする。